

は
が

はじめに、えのちゃん(榎本氏)のギターと歌に合わせて、お母さんやおばあちゃんと、スキンシップ



「はじめは丸形が持ちやすいよ」
くろちゃん(黒川氏)は世界のおもちゃを知っています。

11月25日(水)メイプル福祉センターで、生涯学習サポートセンターより榎本秀樹氏と黒川昌樹氏を講師に迎え、子どもたちのためのおもちゃの選び方や、声かけを遊びながら学ぶ講座を開催しました。

当日は、幼児とお母さん等35名が参加し、ギターに合わせて親子でスキンシップをした後、つみきや形合わせの与え方や子ども達の達成感について教えていただきました。

その間も気に入ったおもちゃで遊ぶ子どもたちは真剣そのものでした。

ものでした。

社協では子育て支援として支部に応じた取り組みをしています。

参加したみなさんは、同じつみきでもいろいろな遊び方があることや、年齢に応じた個数、与え方があることを楽しく学ぶことができました。

これからもみなさんのご意見をききながら、子育て支援センターと連携を取り、実施していきます。

(波賀支部 谷口朱美)

子育て支援で

びっくり
おもちゃ箱

親子で楽しむ
講座を開催

ち
くさ

夏は毎年恒例の金魚すくい「4年前にすくった金魚「まりこちゃん」が今では15cm以上に大きくなったんや」と毎年楽しみにされています

11月27日(金)千種保健福祉センターにおいてあゆみの会(千種介護者のつどい)を開催しました。

「どこにもよつ行かんで、これだけが楽しみなんや。」「みんなに会いつてな。」と8名が参加し、葉牡丹やパンジーなど季節の花で寄せ植えを行いました。

介護者のつどいは、在宅での介護者の孤立を防ぎリフレッシュを図ることを目的に毎月開催し、千種では共にぼちぼち歩んでいこうという意味をこめて「あゆみの会」と名付けられ活動しています。

初めて参加された方の中には、「今まで自分だけが苦しい思いをし」と思っていた。「なかなか人に相談したくても出来なかった。」と涙ながらに話される方もありました。

同じ立場だからこそ、思いを共有し、一緒に泣いて、一緒に笑える集いとして、みなさん楽しみにしておられます。

一人で悩みを抱えがちな介護者の情報交換や交流の場として、社協では今後も「あゆみの会」を応援していきます。

(千種支部 田中祥仁)



「花が大好きでな」と楽しくおしゃべりしながら、寄せ植えづくり

あゆみの会で
リフレッシュ

読者の
感想より

赤い羽根募金がこのたびの災害に役立たれた様子がよく分かりました。よかったですね。ボランティアの方の活動の様子災害にあわれた方々の大変なこと、1日でも早くもとの生活に戻ることができるよう心よりお祈りします。(波賀町 女性)